

シエムリアップ MoiMoiライフ

ISSUE
78

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出陽子 (Yoko KOIDE)
1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年シエムリアップにレストラン Cafe Moi Moi をオープンする。同年 JST (NGO; アンコール遺跡の保全と周辺地域の持続的発展のための人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年「アンコールの都の西北」に公立のバイヨン中学校を創設し、運営を行っている。
JST ホームページ <http://www.jst-cambodia.net>

MoiMoi Life in Siem Reap The Angkor monuments, so close yet so far away.

We have been inviting young students in the Angkor region to visit restoration sites of Bayon Temple since 2010. Our organization that consists of restoration specialists started this activity with donations, after knowing the facts that most visitors to the temples were foreigners whereas majority of the local children never visited Angkor Wat or Bayon Temple. At the end of the morning tour, students are required to write about their impressions. One student wrote: "It was such an exciting experience. No one taught me about Angkor era before. I would like to know more about that time. It made me proud of being Cambodian and appreciate that Japanese government spent their time and money for Cambodia." I strongly hope that visiting the temples becomes an ordinary thing for Cambodian children in the near future.

近くて遠いアンコール遺跡

私が運営する NGO では、2010年からは、アンコール地域にある学校の生徒を招待して、バイヨン寺院修復現場の社会見学会を実施しています。きっかけは、この地域の小学校を回る中で、一度もアンコール・ワットやバイヨンを訪れたことがないという子供があまりにも多かったことにあります。カンボジアでは遠足や社会見学会といった学校行事がないこともありませんが、確かに遺跡を見学しているのは、ほとんどが外国人観光客です。これはおかしいのではないかと、遺跡修復チームの専門家が母体となってきた NGO だからこそその支援ができるのでは、との思いから、遺跡までの交通費や参加する子供たちの昼食代の寄付金を募り、カンボジア人遺跡修復専門家を中心となって実施することにしたのです。午前中だけの行程で、最後に感想文を書いてもらうのですが、その中で、特に印象的だった生徒の作文を紹介したいと思います。

「見るもの聞くものどれも興奮しました。

参加できて本当によかったと思います。先生、また行けるかなあ…。遺跡は今回が初めてでしたが、ぼくの人生で最後になるかもしれない。それでも勉強のチャンスがあったことに、泣きたいほど感動しています。アンコール時代のことって、今まで祖父や両親も教えてくれなかったよ。生まれてなかったから仕方ないかなあ。何とかわかるようになったけれど、もっともっと知りたい、1日中この勉強を続けたかったよ。それに自分がカンボジア人に生まれたこと、とっても誇りに思いました。そしてカンボジアのために日本政府が自分の財産や時間を費やして修復してくれることにも感謝しています。最後に、この勉強会に、昼ご飯だけでなく朝ご飯や晩ご飯も付けてほしいです。」

最後の一文がなんとも微笑ましいですが、この切実な思いをなんとか受け止めて、カンボジアの子供たちがアンコール・ワットやバイヨンを普通に見学できる時代が早くきてほしいと願うばかりです。